

日本教育経営学会 第56回大会プログラム

会場 京都教育大学
〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地
期間 2016年6月10日(金)～12日(日)



京都教育大学

日本教育経営学会 第56回大会実行委員会

ご あ い さ つ

日本教育経営学会第 56 回大会 実行委員会
委員長 榊原禎宏（京都教育大学）

この度、京都教育大学を会場に、日本教育経営学会第 56 回大会を開くことになりました。暑さと湿気が次第に増す季節ですが、緑鮮やかな京都に多くの方々がお越しになるのをお待ちしております。

さて、本大会実行委員会では「共生社会の実現と教育経営の課題—多様性(ダイバーシティ)に教育はどうこたえるか—」を公開シンポジウムとして企画しました。シンポジストによる提案とフロアーの皆さまを交えた議論は当日を楽しみに待ちたいと思いますが、ひとつ論点になるだろう点に関わって京都をご紹介します。

京都教育大学が設置されている京都市には、2015 年度の時点で 41609 人の外国人が居住しています。これは市人口の 3 %ほどを占める規模で、市民およそ 30 数人に一人は外国の方です。また、こちらは京都府全体のデータになりますが、国籍別に見れば、米国、フランス、英国などからの方もいらっしゃいますが、アジア圏の方が多く、なかでも韓国・朝鮮と中国の方を合わせると全体の 77.7% を占めます。これは、全国平均の 54.5%（2014 年度）を大きく上回っており、京都府に在住する外国人の実に 4 人に 3 人は、近隣諸国の方ということになります。

京都は一方で国際的な観光都市で、まさに世界各地から訪問客を毎日のように迎えています。その一方、京都を住まいとしておられる方も少なくありません。しかもその多くは日本に比較的長く住んでいる私たちと、歴史的・文化的な共通項を少なからず持つ国々の方です。そのようなこの地の雰囲気も感じながら、大会の期間、大学内外で楽しんでいただければ幸甚です。

本大会では 40 本を越える、多くの自由研究発表が予定されています。2 日間にわたる 10 の分科会における発表を通じて、教育経営に関する私たちの概念と現実の理解をより深くまた広げる機会になることでしょう。この他、大会初日には、若手研究者のためのラウンドテーブルが開かれ、そして三日目には、研究推進委員会による課題研究と実践推進委員会による実践研究フォーラムも行われます。会員歴や年齢のいかんに関わらず、伸びやかで活発な議論のより多いことを、そして会員間の交流が活発になされることを切に願います。もちろん、総会とそれに引き続く懇親会へのご参加も、よろしくお願い申し上げます。

本大会は、京都教育大学による後援を受けています。会場の確保その他、ご支援・ご配慮いただきました関係諸氏に、深くお礼を申し上げる次第です。ありがとうございました。

第 56 回大会プログラム目次

大会日程および会場	3
大会参加について（ご案内）	4
自由研究発表要領	5
アクセスマップ	6
キャンパスマップ	7
第 1 日 6 月 10 日（金）	
若手研究者のためのラウンドテーブル	8
第 2 日 6 月 11 日（土）	
自由研究発表 1	9
自由研究発表 2	10
自由研究発表 3	11
自由研究発表 4	12
自由研究発表 5	13
公開シンポジウム	14
総会・懇親会	15
第 3 日 6 月 12 日（日）	
自由研究発表 6	16
自由研究発表 7	17
自由研究発表 8	18
自由研究発表 9	19
自由研究発表 10	20
課題研究	21
実践研究フォーラム	22

大会日程および会場

6月10日(金)

13:00~15:00

紀要編集委員会
研究推進委員会
実践推進委員会
国際交流委員会

キャンパスプラザ京都
キャンパスプラザ京都
キャンパスプラザ京都
キャンパスプラザ京都

15:30~17:30

理事会

キャンパスプラザ京都

17:30~19:30

若手研究者ラウンドテーブル

キャンパスプラザ京都

6月11日(土)

8:15~

大会受付・学会受付

1号館C棟1階

9:00~12:00

自由研究発表1
自由研究発表2
自由研究発表3
自由研究発表4
自由研究発表5

1号館C棟1階C3講義室
1号館C棟2階C6講義室
1号館A棟2階A1講義室
1号館A棟2階A3講義室
1号館B棟2階B2講義室

12:00~13:00

昼食

13:00~16:15

公開シンポジウム

1号館C棟2階大講義室

16:30~17:30

総会

1号館C棟2階大講義室

18:30~20:30

懇親会

京都タワーホテル

6月12日(日)

8:15~

大会受付・学会受付

1号館C棟1階

9:00~12:00

自由研究発表6
自由研究発表7
自由研究発表8
自由研究発表9
自由研究発表10

1号館C棟1階C3講義室
1号館C棟2階C6講義室
1号館A棟2階A1講義室
1号館A棟2階A3講義室
1号館B棟2階B2講義室

12:00~13:00

昼食

13:00~16:15

課題研究
実践研究フォーラム

1号館C棟2階C6講義室
1号館C棟2階大講義室

会員控え室

1号館B棟2階B1講義室

学会本部

1号館C棟1階C1講義室

大会実行委員会本部

1号館C棟1階C2講義室

公開シンポジウム打ち合わせ

1号館B棟2階B5講義室

課題研究打ち合わせ

1号館B棟2階B6講義室

実践研究フォーラム打ち合わせ

1号館B棟2階B5講義室

大会参加について(ご案内)

1. 参加申し込みの手順

(1)大会参加・懇親会申込

すでにご案内いたしましたように、東武トップツアーズ株式会社京都支店の WEB よりお申し込みのことと思いますが、まだの方は至急手続きをしていただきますようお願いいたします。5月15日(日)が締切りになりますので、ご注意ください。それ以降の参加申し込みは、大会受付にて承ります。また同封の葉書にて、大会・懇親会へのご出欠をお知らせ下さい。総会ご欠席の方は委任状へのご記入もよろしくお願いいたします。6月1日(水)までにご投函ください。

(2)参加費・懇親会費について

大会の参加費、懇親会費は以下の通りとなります。

大会参加費	正会員（学生除く） 臨時会員	4,000 円
	学生会員（常勤の職を有さない学生に限る）	1,000 円
懇親会費（一律）		5,000 円

(3)宿泊について

ホテルにつきましては、東武トップツアーズ株式会社京都支店に手配を依頼しています。大会参加・懇親会申し込みと共に、WEB より宿泊の予約をすることができます。ホテルの宿泊予約がきわめて難しくなっていますので、ぜひご活用下さい。

2. 受付

6月11日(土)、12日(日)の両日とも、1号館C棟1階にて、学会受付並びに大会受付を行います。

3. 懇親会

日時：6月11日(土) 18:30～20:30

会場：京都タワーホテル 6階 ナポリ・ミラノの間

会費：5,000 円

4. 昼食

大学周辺には食事をするところがほとんどございませんし、コンビニも近くにございませので、お弁当の予約をお勧めします。WEB よりお申し込み下さい。

自由研究発表要領

1. 発表時間

自由研究発表の時間は、以下の通りです。

- (1) 発表者が1名の場合：発表時間 20 分＋質疑 5 分（計 25 分）
- (2) 発表者が複数の場合：発表時間 40 分＋質疑 10 分（計 50 分）
- (3) 共同討議の時間は 25 分です。

※ 共同研究の場合にはプログラムのお名前に○印を付した方が口頭発表者になります。

2. 発表機材

会場には、Windows パソコン、プロジェクター、スクリーンを用意しております。使用される場合は、発表当日、データを USB メモリに入れてお持ちください。なお、Power Point をお使いの場合、念のため Power Point 97-2003 バージョンで保存したデータもご準備ください。使用される会員は、6 月 11 日（土）、12 日（日）とも、開始時刻の 15 分前までに会場に来て動作確認をしてください。

3. 発表資料

当日、発表資料を配布予定の方は、不足が生じないように必要部数（各自 70～100 部を目安）をご持参の上、該当会場の係員にお渡しください。資料配布机におく形で配布させていただきます。発表直前に大会要員が配布するという形ではありませんので、ご注意ください。

※資料の複写等のご要望には、大会実行委員会としてお応えできません。

※発表資料等の送付はご遠慮ください。紛失等の事故が生じることがあります。

4. 発表の取りやめについて

万一、お申し込みいただいた発表を取り止める場合は、必ず事前に大会準備委員会の下記連絡先までご連絡ください。発表者が欠席の場合は、発表時間の繰り上げはせず、質疑・休憩の時間に割り当てます。

大会前の連絡先：jaea2016@kyokyo-u.ac.jp または 075-644-8192

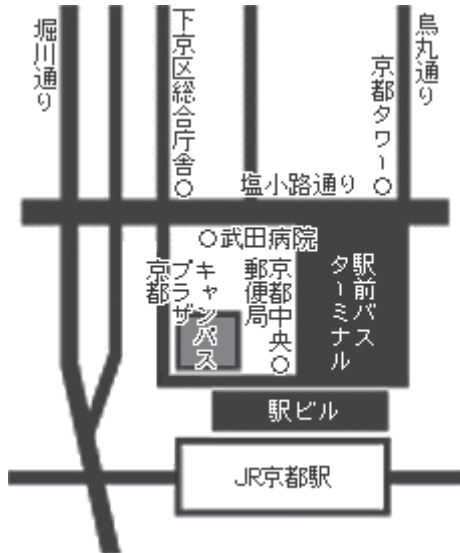
大会期間中（6 月 10 日～12 日）の連絡先：jaea2016@kyokyo-u.ac.jp または 070-2305-1474

5. その他

発表者は、指定発表開始時間にかかわらず、会場の開始 10 分前に司会者に出席を通知してください。

アクセスマップ

キャンパスプラザ京都



所在地

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939

最寄り駅

京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、JR 各線「京都駅」下車。
徒歩 5 分。

京都教育大学藤森キャンパス

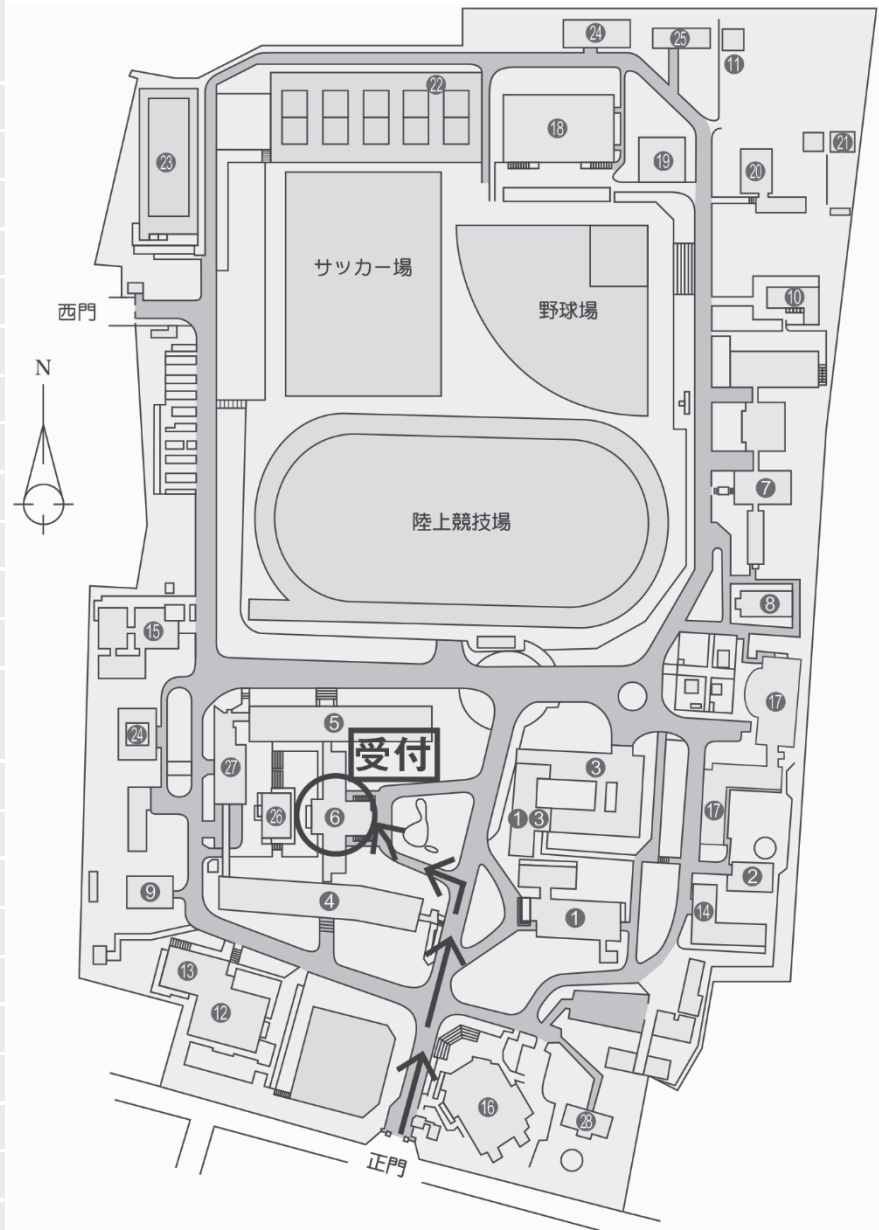
- ・所在地 : 〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町 1 番地
- ・最寄り駅 : JR 奈良線 JR 藤森駅下車 徒歩 3 分 京阪本線 墨染駅下車 徒歩 7 分



キャンパスマップ

●キャンパス 全体図

- ① 事務局
- ② 保健管理センター
- ③ 附属図書館
- ④ 1号館(A棟)
- ⑤ 1号館(B棟)
- ⑥ 1号館(C棟)
- ⑦ 2号館(D棟)
- ⑧ 音楽演奏室
- ⑨ 理科共通実験棟
- ⑩ 特修美術科棟
- ⑪ 陶芸実習室
- ⑫ 共通講義棟(F棟)
- ⑬ 共通実習室棟
- ⑭ 附属教育実践総合センター
- ⑮ 講堂
- ⑯ 大学会館
- ⑰ 体育館
- ⑱ 武道場
- ⑲ トレーニングセンター
- ⑳ テニスコート
- ㉑ プール
- ㉒ 課外活動施設
- ㉓ 合宿所
- ㉔ 情報処理センター
- ㉕ 大学院棟(G棟)
- ㉖ 職員会館



6月10日（金）17：30～19：30

会場：キャンパスプラザ京都

京都教育大学サテライト教室

若手研究者のためのラウンドテーブル

転換期における新しい教育経営学を探究する
—若手研究者が考える新たな研究テーマと課題—

世話人・司会：篠原岳司（北海道大学）、織田泰幸（三重大学）

【趣旨説明】

今日の教育研究および実践は、複雑かつ困難な時代の転換期におかれ、先を見通すことが難しい状況にある。教育経営の独立性や教育経営学の独自性への問いは、急速な社会変動と技術革新を前にして学問の存在意義が揺らぐかのような混迷の状況を受けて発現する問題と言えよう。こうした状況の中、これまでの若手ラウンドテーブルでは、教育経営研究の批判的継承に関心を示し議論を重ねるばかりではなく、教職大学院や学校関係者評価委員など現在の学校や大学の実践現場に身を投じる若手を中心に、研究と実践の往還、そしてそれに関わる研究方法上の探究を続けてきた。一方、これまでの議論を受けて、次代を担う若手研究者としては、学問の独自性や継承発展の議論を超えて、研究とは何か、科学とは何かといった根本的な探究を重ねていくことの重要性を導き出しているところである。このような認識から、今後の若手ラウンドテーブルの企画では、これまでの学会の動向や今後の方向性を意識しつつも、若手研究者ならではの自由な視座によって新たな研究課題と方法を着想・構想することが必要と考えている。

これまでは、スクールリーダー教育のあり方（例：研究の知識と行動のための知識の関係）、教育経営研究のあり方（例：社会的文脈の考慮、学説史や歴史研究の重要性）、教育経営実践に対する研究者のスタンス（例：高地か沼地か、学校現場との向き合い方）、政策-研究-現場の結びつき（例：教育政策と臨床的アプローチの関連の見えにくさ）、研究の生産性や方法論上の課題（学校現場と関わることによる生産性の低下、現場の文脈・多様性の捨象の問題）、教育経営学の強みや独自性（例：集団・組織および環境や文化の視点、学校の変革や改善のプロセスを捉える視点）、などに関する議論が行われてきた。

今年度は、以上に示す議論の蓄積を土台に、これまでの登壇者とは異なる問題関心や方法論に則って研究を進める若手研究者に話題提供をお願いした。話題提供後は、フロアからの意見を交えてラウンドテーブルを進めていく。研究や職務上の苦労話の交流や一定の結論への導きを目指すのではなく、多くの参加者による自由かつ多様な意見交流によって、これからの教育経営学の在り方について共に議論を深めていく機会としたい。

【話題提供者】

1. 研究者としての『生き残り』に向けた研究テーマの探索
2. 歴史研究としての学校経営政策分析の可能性

川上泰彦（兵庫教育大学）

福嶋尚子（千葉工業大学）

（企画・文責：篠原岳司、織田泰幸）

6月11日(土) 9:00～12:00

会場:1号館C棟1階C3講義室

自由研究発表1

司会 仲田康一(大東文化大学)

9:00～9:05	司会挨拶
9:05～9:55	北海道稚内市における学校統廃合の展開と地域教育経営の課題 ○御代田桜子(名古屋大学大学院生) ○米津直希(稚内北星学園大学) ○富樫千紘(稚内北星学園大学非常勤講師)
9:55～10:20	学校運営協議会に対する地方教育行政の関与 —「行政委員」に着目して— ○小林昇光(九州大学大学院生)
10:20～10:45	「みんなく」の組織的实践 —学校と地域の連携・協働をめざして— ○木田哲生(大阪教育大学連合教職大学院生)
10:45～11:35	新たな学校ガバナンスにおける「教育の専門性」の再定位(1) ○浜田博文(筑波大学) 安藤知子(上越教育大学) ○山下晃一(神戸大学) ○加藤崇英(茨城大学) 大野裕己(兵庫教育大学) 高谷哲也(鹿児島大学) ○照屋翔大(茨城大学) 朝倉雅史(早稲田大学) 高野貴大(筑波大学大学院生)
11:35～12:00	共同討議

6月11日(土) 9:00～12:00

会場:1号館C棟2階C6講義室

自由研究発表2

司会 元兼正浩 (九州大学)

9:00～9:05	司会挨拶
9:05～9:55	女性管理職育成に関わる学校組織特性についての研究 ○吉田ちひろ (関東学園大学) ○中村映子 (筑波大学大学院生)
9:55～10:20	公立高校における女性管理職の育成と登用の実態と問題に関する研究 ○山本直子 (筑波大学大学院生)
10:20～10:45	校長の研修の機会としての校長会の役割 ―A県における校長会の組織区分と研修内容との関連をふまえて― ○鈴木久米男 (岩手大学)
10:45～11:35	副校長・教頭の職務状況に関する調査 ○藤原文雄 (国立教育政策研究所) ○浅野良一 (兵庫教育大学) ○安藤知子 (上越教育大学) ○大竹晋吾 (福岡教育大学) ○北神正行 (国土舘大学) ○久我直人 (鳴門教育大学) ○諏訪英広 (兵庫教育大学)
11:35～12:00	共同討議

6月11日(土) 9:00～11:35

会場:1号館A棟1階A1講義室

自由研究発表3

司会 高妻紳二郎 (福岡大学)

9:00～9:05	司会挨拶
9:05～9:30	ロンドン市の一小学校におけるリテラシー教育改革を軸にしたインクルージョン ○濱元伸彦 (京都造形芸術大学)
9:30～9:55	社会変動の中で進む初等教育の多元化傾向 —幼・小の接続・移行を視座にして— ○岡村千恵子 (京都外国語大学非常勤講師)
9:55～10:20	家庭教育支援のあり方に関する一考察 —家庭・学校・地域社会の連携・協働に着目して— ○藤井瞳 (広島大学大学院院生)
10:20～11:10	生徒指導上の現代的課題 —教員及び保護者へのアンケート調査をもとに— ○片山紀子 (京都教育大学) ○角田豊 (京都産業大学) ○小松貴弘 (京都教育大学)
11:10～11:35	共同討議

6月11日(土) 9:00～12:00

会場:1号館A棟2階A3講義室

自由研究発表4

司会 貞広齋子(千葉大学)

9:00～9:05	司会挨拶
9:05～9:30	高等学校における養護教諭活用過程とその影響 —事例分析を通して— ○留目宏美(上越教育大学)
9:30～9:55	埼玉の県立学校の事例から見た学校改善を支える教員の創発的な学び のあり方 ○藤井幹夫(東京大学大学院生)
9:55～10:20	カリキュラム・マネジメントによる学校改善 —学校と家庭をつなぐA中学校の「基礎力」を育む実践から— ○菅原至(上越教育大学)
10:20～10:45	教職員全員でつくる「学校組織マネジメント」の在り方 ～2校での実践を通して～ ○後藤俊哉(横浜市立笠間小学校)
10:45～11:35	学校における多職種配置の実態からみたチームマネジメントの課題 ○木岡一明(名城大学) ○野村ゆかり(高知市立潮江南小学校)
11:35～12:00	共同討議

6月11日(土) 9:00～11:35

会場:1号館B棟2階B2講義室

自由研究発表5

司会 篠原岳司（北海道大学）

9:00～9:05	司会挨拶
9:05～9:30	校長交代期における公立高校校長の経営理念の組織内浸透過程研究 ○福島真治（東京大学大学院生）
9:30～9:55	学校運営の改善に寄与する学校評価の在り方に関する研究 ○中村浩二（名古屋市立明正小学校）
9:55～10:20	学校評価を活用した小中一貫教育のマネジメント ～5つの地域の事例研究～ ○熊坂伸子（お茶の水女子大学大学院生）
10:20～11:10	学校経営の目標概念群とその機能を支える思考様式 ○曾余田浩史（広島大学） ○曾余田順子
11:10～11:35	共同討議

6月11日(土)13:00～16:15

会場:1号館C棟2階大講義室

公開シンポジウム

共生社会の実現と教育経営の課題—^{ダイバーシティ}多様性に教育はどうか—

私たちは、経済的な格差、障がいの有無、性、国籍、文化など多面的な「差異」とそれを背景とする「社会的カテゴリー」の中で暮らしている。近年、改めてこうした面での社会的不平等や差別が注目され、誰もが適正な生活や学習機会を保障されるとともに、多様性を認めあう公正な社会を構築することが課題となっている。国の政策では「共生社会」「男女共同参画」「インクルージョン」「一億総活躍」など様々なビジョンが示され、施策が展開されている。地方でも、同性カップルの公的認定や多文化共生施策など、それぞれの自治体の社会的環境と考え方に応じた施策が行われている。他方、いわゆるヘイトスピーチなどこうした動きに反対する行動も見られるし、同性カップルや外国人参政権、夫婦別姓の問題などについては意見が分かれているのも事実である。

学校教育においては以前から同和教育や人権教育などの取り組みがなされてきたが、近年では子どもの貧困対策、インクルーシブ教育、外国人児童生徒教育、LGBTの児童生徒への対応などに力が入られるようになってきた。そこでは、教育の中で共生を実現することとともに、共生社会を構成する主体を育成することが課題となっている。「多様な教育機会確保法案」をめぐる動きなどは、多様性の名の下に子どもの成長と学校との関係が大きく変わる可能性を示している。これまでの学校教育は「国民」について共通理解が成り立っているという想定の下にその形成に取り組んできたが、これからの社会を展望したときにその大きな転換が課題となっているということもできる。目の前の課題に対症療法的に対応するだけでなく、近代の学校教育制度が保持してきた枠組みや価値秩序が問われ、改めて学校教育のビジョンとミッションを描きなおす必要に迫られているのである。

本シンポジウムでは、こうした動向の中で学校教育に関わる課題を総合的に取り上げ、教育経営の課題を検討することとする。カリキュラム、教職員の専門性、学校内部の組織体制、外部の人材や機関との連携、教育委員会の条件整備と支援、他の政策領域とのクロスボーダー、教育の費用負担と資源配分など幅広い論点が考えられる。また、いかにしてこれからの学校教育のビジョンとミッションを描くかという基本的な問題、及び今後の教育経営研究の在り方についても議論したい。

シンポジスト：

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ・ 学校経営実践の立場から | 水野博之（京都市立栗陵中学校） |
| ・ 包摂と排除の社会学の立場から | 倉石一郎（京都大学） |
| ・ 子どもの貧困対策研究の立場から | 柏木智子（大手前大学） |
| ・ 外国人児童生徒教育研究の立場から | 臼井智美（大阪教育大学） |

司 会：水本徳明（同志社女子大学）

6月11日(土)16:30～17:30

会場:1号館C棟2階大講義室

総会

※ご欠席の会員は、同封の葉書にある「委任状」に必要事項を記載のうえ、6月1日(水)までにご投函ください。

6月11日(土)18:30～20:30

会場:京都タワーホテル 6階ナポリ・ミラノの間

懇親会

※京都タワーホテルは京都駅前にあります。

懇親会会場へは、JRで京都駅まで移動していただくことになります。

JR 藤森駅発 17時49分、18時03分、18時10分のいずれかにご乗車下さい。

6月12日(日) 9:00～12:00

会場: 1号館C棟1階C3講義室

自由研究発表6

司会 山下晃一 (神戸大学)

9:00～9:05	司会挨拶
9:05～9:30	多様な教職員を活用した学校経営 —イギリスのサポートスタッフを事例として— ○植田みどり (国立教育政策研究所)
9:30～9:55	ドイツにおける民主主義教育と学校開発 ○柳澤良明 (香川大学)
9:55～10:20	ニュージーランドにおける自律的学校経営の転換と学校支援 ○福本みちよ (東京学芸大学)
10:20～10:45	コロラド州デンバー学区における労働条件に関する団体交渉 ○岩月真也 (同志社大学)
10:45～11:35	移民教育政策に関する国際比較研究 —スクールリーダーの経営環境の解明に向けて— ○臼井智美 (大阪教育大学) ○佐藤博志 (筑波大学) ○鞍馬裕美 (明治学院大学) ○末松裕基 (東京学芸大学) ○照屋翔大 (茨城大学)
11:35～12:00	共同討議

6月12日(日) 9:00～12:00

会場:1号館C棟2階C6講義室

自由研究発表7

司会 雲尾周（新潟大学）

9:00～9:05	司会挨拶
9:05～9:30	高等学校における講師採用プロセスに関する一考察 —福岡県下の管理職へのインタビュー調査に基づいて— ○原北祥悟（九州大学大学院生）
9:30～9:55	小学校若手教員の職能発達を促すプロセスに関する研究 ○中村映子（筑波大学大学院生）
9:55～10:45	関わりの中における初任期教員の職能開発 ○波多江俊介（熊本学園大学） ○川上泰彦（兵庫教育大学） 妹尾渉（国立教育政策研究所）
10:45～11:10	追跡的調査データを活用した教員の異動と適応の分析 ○川上泰彦（兵庫教育大学） 波多江俊介（熊本学園大学） 妹尾渉（国立教育政策研究所）
11:10～11:35	教師の力量形成に資する「職員室文化」についての一考察 ○林孝（広島大学） 米沢崇（広島大学） 藤井瞳（広島大学大学院生）
11:35～12:00	共同討議

6月12日(日) 9:00～12:00

会場:1号館A棟A1講義室

自由研究発表 8

司会 高瀬 淳 (岡山大学)

9:00～9:05	司会挨拶
9:05～9:30	社会に接続した大学教育の設計と展開 —米国大学協会 (AAC&U) における学部教育プログラム開発を手掛かりとして— ○柴 恭史 (京都大学)
9:30～9:55	福井県のプロフェッショナル・ラーニング・コミュニティと校長のリーダーシップとの関連 ○千々布敏弥 (国立教育政策研究所)
9:55～10:20	直接経験の省察に基づく職業人を対象としたリーダーシップ開発プログラムの展開 ○佐野享子 (筑波大学)
10:20～10:45	教職大学院におけるアクション・リサーチに関する一考察 ○倉本哲男 (愛知教育大学)
10:45～11:35	教職大学院におけるグループ討議の質とカリキュラムとの関連 ○水本徳明 (同志社女子大学) ○大林正史 (鳴門教育大学) 久我直人 (鳴門教育大学) ○佐古秀一 (鳴門教育大学) 前田洋一 (鳴門教育大学) ○小松貴弘 (京都教育大学) 竺沙知章 (京都教育大学)
11:35～12:00	共同討議

6月12日(日) 9:00～12:00

会場:1号館A棟A3講義室

自由研究発表9

司会 平井貴美代(山梨大学)

9:00～9:05	司会挨拶
9:05～9:30	ソーシャル・キャピタルの効果性と短期変容可能性 ○露口健司(愛媛大学)
9:30～10:20	結束型地域ソーシャル・キャピタルの維持要因と教育的功罪 —つながりの強い地域と学校との連携事例より— ○柏木智子(大手前大学) ○大林正史(鳴門教育大学)
10:20～10:45	学校組織のソーシャル・キャピタルと教師の集团的効力感および学力 との影響関係 ○吉村春美(東京大学) 中原淳(東京大学)
10:45～11:35	保護者・住民の学校経営参加に対する教師の意識に関する研究○岩永 定(熊本大学) ○橋本洋治(日本福祉大学) ○柏木智子(大手前大学) ○仲田康一(大東文化大学) 藤岡恭子(鈴鹿大学短期大学部)
11:35～12:00	共同討議

6月12日(日) 9:00～12:00

会場:1号館B棟B2講義室

自由研究発表 10

司会 大野裕巳 (兵庫教育大学)

9:00～9:05	司会挨拶
9:05～9:30	改正労働安全衛生法「ストレスチェック」制度導入による教育経営上の対応課題 ○高木亮 (就実大学)
9:30～10:20	校内研修における教師間の対話の特徴に関する一考察 —語られた内容とその展開に影響を与えた要素を対象とした事例分析から— ○高谷哲也 (鹿児島大学) ○山内絵美理 (鹿児島大学大学院生)
10:20～10:45	総合的な学習の時間における教師の正統的周辺参加 —絵本作家いわむらかずお氏との連携を通して— ○齋藤義雄 (東京家政学院大学)
10:45～11:05	教師の経験年数と資質能力向上の要因 —教員評価システムのモデル解析を通して— ○一之瀬敦幾 (静岡大学・常葉大学非常勤)
11:05～11:35	学校改革のためのヒューマンプロセスを重視する教員研修モデル— “富附特支型研修モデル”の導入と実際— ○竹村哲 (富山大学)
11:35～12:00	共同討議

6月12日(日)13:00～16:15

会場:1号館C棟2階C6講義室

課題研究

日本型教育経営システムの有効性に関する研究:新たな学校像における教育の専門性(1) —担い手(スタッフ)に着目して—

【課題設定の趣旨】

1990年代末以降我が国では、学校内部組織、学校外部関係両面において、「学校の自律性」改革が進められてきた。校長のリーダーシップの下、学校の組織運営・指導体制の強化・充実を図るため、職員会議の法定、校長・教頭資格の緩和、新たな職の導入等の改革が行われ、他方、学校評議員、学校運営協議会制度、学校評価システムといった父母・地域住民の教育意思形成の制度的「装置」が設定されてきた。しかしながら、こうした制度の導入により、学校の内部組織と外部関係を包含する「教育経営」フィールドが現実にもどのように変化したのかについては、明らかになっていないのではないだろうか。

そうした中で、これまでとは異なる学校観に基づき、学校の内部組織と外部関係を大きく転換する改革が進められようとしている。2015年12月に出された中央教育審議会答申「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」では、「校長のリーダーシップの下、カリキュラム、日々の教育活動、学校の資源が一体的にマネジメントされ、教職員や学校内の多様な人材が、それぞれの専門性を生かして能力を発揮し、子供たちに必要な資質・能力を確実に身に付けさせることができる学校」像が提示され、そのための具体的改善方策として、(1)専門性に基づくチーム体制の構築、(2)学校のマネジメント機能の強化、(3)教職員一人一人が力を発揮できる環境の整備が掲げられている。

しかし、ここで示されている「専門性」の中身は曖昧である。一見、教員が教育指導に専念する欧米型知育学校を目指しているように見えるが、実は日本の特質をも維持する学校のあり方を模索している。そこでは、多様な専門性を有する職員との「分業体制」をとる欧米型学校とは異なる連携・協働が必要となるが、それについては深められていない。また、具体的な改善方策については、この間進められてきた改革の包括的な提示にとどまっており、その理論的・実践的総括を行わなければ、今日の日本の教育経営現実に適応しうるシステム構築は困難ではないだろうか。

こうした問題意識の下、今期研究推進委員会は、「教育の専門性」に着目し、我が国における教育経営システムの有効性について歴史的、比較的に検証することにより、今後求められる教育経営構造を描き出すことを共同研究課題として設定した。具体的には、(1)2000年代以降進められてきた学校の自律性をめぐる諸改革により、教育経営をめぐる現実がどのように変化してきたのか、理論的・実践的に総括を行い、(2)我が国における学校の役割認識と内部組織・外部関係、教員及びその他の職員の専門性について歴史的に整理し、(3)「チームとしての学校」において構想されている教育経営システムとその課題、そこにおける「教育の専門性」について明らかにし、その有効性を国際比較により検証し、(4)以上を総合的に分析して、今日の教育経営現実に適応可能で、日本の特質を生かすことのできる教育経営構造を提示することを目指したいと考えている。

そこで研究初年度にあたる今回は、担い手(スタッフ)に着目し、「教育の専門性」について考察を行う。教育政策における新たな学校像を確認し、アメリカとドイツの事例を参照することで、日本型教育経営システムにおける「教育の専門性」を考えていくための示唆を得たい。

報告者 加藤崇英(茨城大学):教育政策における新たな学校像

大野裕己(兵庫教育大学):アメリカの事例から

前原健二(東京学芸大学):ドイツの事例から

司会 平井貴美代(山梨大学)・南部初世(名古屋大学)

*報告タイトルは変更の可能性があります。

6月12日(日)13:00～16:15

会場:1号館C棟2階大講義室

実践研究フォーラム

副校長・教頭、専門職団体とのパートナーシップの推進

司会 北神正行(国士舘大学)、藤原文雄(国立教育政策研究所)

報告者 全国公立学校教頭会会長「副校長・教頭の現状と全国公立学校教頭会の取組」

浜田博文日本教育経営学会会長「アメリカにおけるスクールリーダー」

佐古秀一会員(鳴門教育大学)「副校長・教頭職の育成システムの現状と課題」

諏訪英広会員(兵庫教育大学)「副校長・教頭の職務状況」

*題名は変更の可能性があります。

【課題設定の趣旨】

各学校で編成される教育課程の大枠を定める学習指導要領の改訂作業が、東京でオリンピックが開催される2020年のスタートを目指して進められている。教育課程の改革を進める上では、学校の組織能力を高めるための改革も必要であることから、中央教育審議会(以下、中教審)は、学校と地域との関係性の改革、教師教育の改革、教職員等指導体制とマネジメントの改革(「チームとしての学校」)についても審議し、2015年12月に答申を提出した。

こうした教育課程の改革や学校の組織能力を高めるための教育改革を進める上で、スクールリーダー(校長、副校長・教頭、事務長、主幹教諭等)の役割は極めて大きい。このため、各種の答申においても、スクールリーダーの役割や育成の在り方について言及している。しかし、それらはそれぞれの答申の主題に沿って言及されるにとどまり、総合的・体系的な検討・提言とは言い難く、スクールリーダーの役割や育成の在り方については更に議論を深めることが必須である。

スクールリーダーの役割や育成の在り方に関して、それぞれの立場で尽力している団体として教育行政機関、高等教育機関・学術団体、校長会・教頭会等があり、スクールリーダーの機能強化を図る上では、これらの当事者団体間のパートナーシップ(連携・協働)の確立が望ましい。そのため、スクールリーダーの役割や育成の在り方に関して検討を進める上では、これらの当事者団体間のお互いの立場に対するリスペクトと配慮に基づく対話を重ねることが必要である。

今回は、教育改革の中で重要な役割が期待されつつも、勤務負担の重さや職務内容の幅広さにより、本来の役割の発揮が難しい状況にある副校長・教頭職の専門職団体である全国公立学校教頭会の会長をお招きし、①教頭会、学会はどのような活動をしているのか、どのような連携・協働が可能なのか、②教頭職はどのような役割を果たすべきなのか、どのような職務状況にあり、どう改善すべきなのか、③教頭職の育成システムはどうあるべきなのかという点について当事者間で討議する。

パートナーシップの推進の「キックオフ」として親和的な雰囲気のフォーラムとしたい。

教員を育て磨く専門誌 [シナプス]

SYNAPSE

教員の養成・採用・研修を一体的なものとして捉え、各段階の接続を重視して見直し再構築すること、その際国や教育委員会、大学が協働して教員の資質能力の開発・向上に取り組むなどの方針が示されました。

本誌「シナプス」は、教員養成・研修など教師教育にかかわる諸情報を中心に、学校現場での諸問題、中教審の動向や資料等、教育行政に関する情報を正確かつ迅速に発信します。

毎号特集記事、特別インタビュー記事を掲載 最新の教育動向に関する寄稿も多数収録

最新刊 2016年4・5月号の主な内容

特別インタビュー

加治佐 哲也 前 兵庫教育大学長

教員養成改革の方向性をどう捉えるか

～教員の資質向上に大学はどこまで貢献できるか～

酒井 朗 上智大学総合人間科学部 教授

中教審答申から大学と教育委員会の関係をどう読み取るか

特別寄稿

齋藤 憲一郎 文部科学省 前 初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育企画官

特別支援教育の充実に向けて～「障害者差別解消法」の施行及び中教審答申(これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について)と特別支援教育について～

現在掲載中の連載記事

新連載 山口大学の教員養成改革

新連載 学生ボランティアは大学・地域に何をもたらすか

- ・世界の学校管理職養成
- ・教育行政と学校経営の基本的位置 ―学校教育充実のための教育行政の役割―
- ・教職大学院における「新たな学び」の実践 ―教職大学院に何を求め、何を学んだか―
- ・教職大学院での学び・経験がどう活かされているか
- ・教職課程事務入門 ―教員免許事務とは、教職課程の運営とは―
- ・米国の障害者教育・福祉の最新事情 ―米国の事例から学ぶ障害者福祉と障害学生支援―
- ・教員採用状況の実態分析と考察 ―教員の需給バランス調査から―
- ・教員免許制度の改正を整理する ―現在の教員免許制度はどのような観点から構築されてきたか―
- ・体験の風をおこそう



【判型/頁】 B5判/64～72頁
【定価】 本体1,000円+税
【発行形態】 隔月(偶数月)発行
【購読料】 年間購読料6,000円
(送料・税別)



ジ アース
教育新社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-23 宗保第 2 ビル
電 話 03-5282-7183/FAX 03-5282-7892
E-mail: info@kyoikushinsha.co.jp URL: http://www.kyoikushinsha.co.jp/

エッセンスシリーズ

The Essentials Series

好評
発売中

教職課程におけるテキストとして幅広くご活用頂いております。

新訂版 教育法規エッセンス

— 教職を志す人のために —

B5判 130頁 定価 1,900円+税
監修/元兼 正浩(九州大学大学院教授)
著者/九州大学大学院教育法制研究室

特別活動エッセンス

— 望ましい人間関係づくりのために —

B5判 88頁 定価 1,905円+税
監修/元兼 正浩(九州大学大学院教授)
著者/九州大学大学院教育法制研究室

子ども論エッセンス

— 教育の原点を求めて —
～すべての子どもに権利・人権を保障するとは～

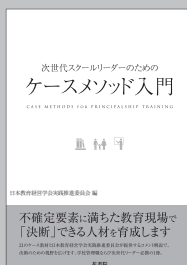
B5判 130頁 定価 1,900円+税
監修/元兼 正浩(九州大学大学院教授)
著者/九州大学大学院教育法制研究室+哲史研究室

教職論エッセンス

— 成長し続けるキャリアデザインのために —

B5判 210頁 定価 1,900円+税
監修/元兼 正浩(九州大学大学院教授)
著者/九州大学大学院教育法制研究室

次世代スクールリーダーのための ケースメソッド入門



A5判 220頁 定価 2,000円+税
日本教育経営学会実践推進委員会 編
学校組織が日常的に直面する21事例(「校長の専門職基準」準拠)を用いて、スクールリーダーとしての意思決定を疑似体験し、経営判断能力を育成できるケース事例集です。回答例の他に、日本教育経営学会実践推進委員らによるコメントで、決断のための視野を広げます。キーワード解説やコラムも掲載し、自己啓発書としても活用できます。

次世代スクールリーダーのための 「校長の専門職基準」



A5判 248頁 定価 2,000円+税
日本教育経営学会実践推進委員会 編
校長職が専門職であるためには、求められる専門的力量的内容を明確にし、資格・養成・研修等の制度を確立する必要がある。([2009年版]はじめにより)
第1期～第Ⅲ期実践推進委員会の手による日本教育経営学会「校長の専門職基準」の解体新書。

2016年6月刊行

専門職としての校長の力量形成

A5判 約300頁 定価 3,500円+税(予定)
牛渡 淳・元兼 正浩 編

日本教育経営学会が2009年に作成した「校長の専門職基準」を踏まえて、新たなスクールリーダー教育の可能性を理論的・実証的に探る。
第1部 専門職としての校長職の検討、第2部 スクールリーダーとしての力量開発、第3部 校長の力量形成環境の整備で構成された渾身の1冊。



花書院
図書出版

〒810-0012 福岡県福岡市中央区白金2丁目9番2号
TEL.092-526-0287 FAX.092-524-4411

新版世界の学校

教育制度から日常の学校風景まで

●二宮 皓／編著 定価二七〇〇円

世界の学校をあなたはよく知っている？ 知っているようで知らない世界の学校の日常。教育制度から日常の学校風景までをまとめた大好評の『世界の学校』が全面改訂。



高等学校管理職に向けた唯一の専門誌

月刊高校教育

●毎月13日発売 B5判

定価一〇二六円・年間誌代一四六三四円(増刊2冊含む)

高校教育の課題を鋭く追求し、学校づくりの考え方と実例を満載した高等学校管理職必携の雑誌。

学校講話を通して校長力を高める

月刊プリンシパル

●毎月13日発売 A5判

定価七二四円・年間誌代一〇八〇四円(増刊2冊含む)

小学校・中学校の校長先生に向けた、学校講話と校長学の専門誌。学校講話の重要性に着目し、話材・事例を豊富に収録。校長に必要な知識・情報が満載。

中高校の授業研究と教育課程の編成実施のために

中等教育資料

●毎月28日発売 B5判

定価六九一元・年間誌代八二九二円

文部科学省教育課程編集。中学・高校での授業の実践や校内研究に必要な不可欠な理論・実践事例を豊富に紹介。

ホームページからもご注文できます <http://www.gakuji.co.jp>

学事出版 ご注文は、お近くの書店か小社へ TEL 03-3253-4626 FAX 0120-655-514

教師の条件 改訂版

授業と学校をつくる力

小島弘道・北神正行・水本徳明
・平井貴美代・安藤知子 著

本体2600円
●2800円



教育行政学 改訂新版

勝野正章・藤本典裕 編

本体1800円
●1600円



世界大学ランキングと日本の大学

ワールドクラス・ユニバーシティへの道

綿貫健治 著

本体1500円
●1280円



大学生のキャリアとジェンダー

大学生調査にみるキャリア支援への示唆

谷田川ルミ 著

本体2700円
●1960円



<講座 現代学校教育の高度化>

考える教師 省察、創造、実践する教師

山崎準二・榎原禎宏・辻野けんま 著

●180頁
本体2100円

生涯学習と学習社会の創造

佐藤晴雄・望月厚志・柴田彩千子 著

●176頁
本体2100円

スクールリーダーシップ

小島弘道・淵上克義・露口健司 著

●180頁
本体2100円

学校づくりと学校経営

小島弘道・勝野正章・平井貴美代 著

●近刊

学校づくりとスクールミドル

小島弘道・熊谷慎之輔・末松裕基 著

●192頁
本体2100円



社会参画する大学と市民学習

アセスメントの原理と技法

S.ゲルモン、B. A. ホランド、A. ドリスコル、
A. スプリング、S. ケリガン 著/山田一隆 監訳

本体2500円
●2280円



無名大学を優良大学にする力

一ある大学の変革物語

ジョージ・ケラー 著/堀江未来 監訳

●136頁
本体1600円

教師教育テキストシリーズ⑧

学校経営

小島弘道 編

●226頁
本体1800円

〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-6-1
<http://www.gakubunsha.com>

学文社

Tel 03-3715-1501(代) Fax 03-3715-2012
E-mail: eigyo@gakubunsha.com

教育学関係学術図書のご案内

価格は税別。

アメリカ合衆国における学校体罰の研究

片山 紀子著

7000円

アメリカ合衆国の学校体罰史や懲戒制度を検証し、今日的規律形成の動向を捉える。わが国の学校規律の展望を見出すにあたって、示唆多い労作。

学校秩序回復のための生徒指導体制モデル

石黒 康夫著

2800円

学校の秩序を回復した実践の中から共通に見られる要素を抽出し、回復に有効な生徒指導体制モデルを作成。管理職と教師・教師と子どもとの協働関係を視野に入れる。

近代日本における学校園の成立と展開

田中千賀子著

8000円

日本の近代教育において初めて学校教育における自然物の意義を明示した「学校園施設通牒」に着目。前史や後史を含めて学校園の概念とその展開の解明を試みる。

デューイ実験学校における統合的カリキュラム開発の研究

中野 真志著

9500円

アメリカにおけるカリキュラム諸理論の歴史的な検討を踏まえ、デューイ実験学校の統合的なカリキュラムの開発過程と授業実践について考察する。

フランス公教育論と市民育成の原理

石堂 常世著

13000円

公教育論発祥の地であるフランスに焦点を定め、18世紀以降の公教育論を詳細に究明。フランス型学校教育の基幹課題をその哲学に迫って纏めた著者半世紀に亘る大著。

教育における指導ラウンド ―ハーバードのチャレンジ―

R.エルモア・L.テイテル他著 八尾坂修監訳

2800円

「指導ラウンドネットワーク」と呼ばれる新たな学びの方法を開発。「質の高い効果的な指導」についての共通認識を育み、組織的能力を高めるプロセスを紹介する。

近代日本保育者養成史の研究

永井 優美著

10500円

日本に保育者養成の思想と方法を伝えたアメリカ人宣教師たちに注目し、近代日本における保育者養成の実態と特質を、キリスト教系保母養成機関を中心に解明した意欲作。

ドイツ自由学校共同体の研究

渡邊 隆信著

9500円

ドイツ新教育を代表する自由学校共同体、オーデンヴァルト校。同校の生徒・教師が織りなす関係性の諸相を、未刊行一次史料の分析を通して実証的に解明した大著。

教員の異文化体験 ―異文化適応・人間の成長―

鈴木 京子著

9000円

日本からの教員海外派遣プログラムで海外に滞在した経験を持つ教員を対象に質的調査を実施。異文化接触による人間の成長と教員としての成長について明らかにした。

戦後日本教員研修制度成立過程の研究

久保富三著

15000円

自らの教職経験に基づく「研究の自由保障」の重要性を問題意識として、戦後教員研修制度成立過程の特質、内在する課題を日米の資料を駆使して総合的・実証的に検討。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34
TEL 03-3291-5729 FAX 03-3291-5757

風 間 書 房

(URL) <http://www.kazamashobo.co.jp>
メールアドレス pub@kazamashobo.co.jp

「あの京大を、この目で」

京都大学キャンパストークツアーに参加しませんか？

有限会社関西教育考学は、主として中学生・高校生の生徒様、または保護者の方々を対象に

京都大学キャンパストークツアーを実施しております。現役京大生が皆様をご案内いたします！

キャンパストークツアーの魅力

- 大学らしさを実感できる！
- 学習意欲の向上につながる！
- 進路を考えるきっかけに！
- どのスタッフも経験豊富！

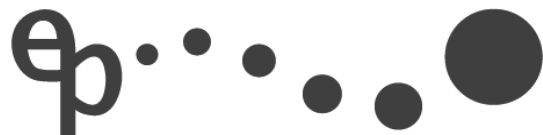
弊社ホームページにある専用フォーム、またはEmail アドレスよりお気軽にお問合せください。折り返し、弊社担当者からお電話またはメールを差し上げます。

【所在地】 〒606-8202 京都市左京区田中大堰町 16-4
ジュネスイン京都 502

【TEL&FAX】 075-712-2656
(電話受付時間は平日 13～17 時です)

【HP】 <http://www.kyoikukogaku.co.jp/>

【Email】 tour@kyoikukogaku.co.jp



Educational Pathfinder

関西教育考学は、大学に蓄積された知を教育の現場へ広く還元し、教育にかかわるすべての人のお手伝いを致します。

みなさんの笑顔、それが私たちの目的です。

2017
年度版

分かりやすい読みやすい 法規集の決定版！

必携

教

職

六

法

監修

若井 彌一

京都光華女子大学副学長

編集委員

河野 和清

広島大学大学院教授

高見 茂

京都大学大学院教授

結城 忠

国立教育政策研究所名誉所員

定価:2,200円+税 A5判 1,024頁

〈主な改正法令〉

学校教育法／学校教育法施行規則／公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律／義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律／公職選挙法／地方教育行政の組織及び運営に関する法律／行政不服審査法／文部科学省設置法

発売中!



教員採用試験に頻出の条文が「太字」になっているので覚えるポイントが一目瞭然！
難解な教育関連法令が「事項別解説」で理解できる！
教員採用試験から学校現場、管理職試験まで教育法規の学習に完全対応！



協同出版

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-5 TEL 03(3295)1341 FAX 03(3233)0970

ホームページ <http://www.kyodo-s.jp>

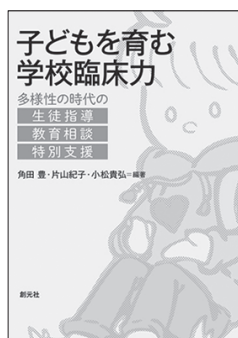
子どもを育む学校臨床力

多様性の時代の生徒指導・教育相談・特別支援

角田豊、片山紀子、小松貴弘編著

定価(本体2,300円+税)

社会の変化に伴い、子どもたちの間にも多様性が広がる中、これからの教師に必要な力として「学校臨床力」を提案、従来の生徒指導や進路指導、教育相談、特別支援教育をベースにしつつも、それらを超えていくための新たな視点や実践に役立つ知識を包括的かつコンパクトに提供する。



エピソード教育臨床

生きづらさを描く質的研究

大塚類、遠藤野ゆり編著／大石英史、川崎徳子、磯崎祐介著

定価(本体2,000円+税)

低学力、不登校、発達障害……多様な場面での個々の苦しみに寄り添い、そのかけがえのない思いを描き出す質的研究の事例集。

期待とあきらめの心理

親と子の関係をめぐる教育臨床

内田利広著 定価(本体3,200円+税)

子どもの生きづらさの根底にある、親の思いと子どもが感じる愛情の間のズレを丁寧にみつめ、家族の成長プロセスを追う意欲作。

家裁調査官が見た現代の非行と家族 司法臨床の現場から

廣井亮一編 定価(本体2,400円+税)

家庭裁判所で取り扱われる事件を歴史の変遷や社会的背景を踏まえて緻密に考察、現代の少年と家族の実相を浮き彫りにする。

河合隼雄の スクールカウンセリング講演録

河合隼雄著／村山正治編／滝口俊子編著

定価(本体2,300円+税)

「揺れる学校とスクールカウンセラー」などスクールカウンセリングに特化した貴重な講演8本を収録。



現場で役立つ スクールカウンセリングの実践

村山正治、滝口俊子編 定価(本体3,300円+税)

小中高それぞれの特性に応じた活動のあり方、教師や保護者の支援など、スクールカウンセリングの専門家が学校現場で役立つ実践知を紹介する。



〒541-0047 大阪市中央区淡路町4-3-6
Tel.06-6231-9010 Fax.06-6233-3111

創元社
<http://www.sogensha.co.jp/>

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-3 煉瓦塔ビル
Tel.03-3269-1051

日常でよく使われる用語を収録し、
多くの用語を示した表記辞典の決定版

用字用語 新表記 辞典

新訂四版

天沼 寧、加藤彰彦 編

B6判・816ページ・並製・ケース入 定価：本体1,700円+税

- 国語表記の目安となる内閣告示、通知・通達及び文部科学省資料等に基づいて編集した、現代日本語を書くための表記辞典の決定版です。
- 見出し語には、現代表記に必要な約2万6千語を収録し、それぞれに豊富な用例を掲げ、さらに参考表記、言い換え、公用文の表記等を示しました。特に公用文の表記については注釈等も充実、実務の必携書です。

用字用語
新表記
辞典

第 四版

学校経営に関するトラブル対応を
法的根拠に基づき解説！

学校経営の 危機管理

—トラブル対応と法的解説—



編集代表：下村 哲夫・天笠 茂

加除式・B5判・全2巻 定価：本体12,000円+税

- 学校で実際に起きた事例や発生が予想されるトラブル事例を題材に、教育現場の視点から具体的な対応策をQ&A形式で解説！

- ☐ 災害：管理職不在時に地震が起きたら？
- ☐ 職場：教職員の多忙感を解消するには？
- ☐ いじめ：警察への通報の留意事項とは？

商品の詳細、お申込みは

→ 第一法規

検索

CLICK!



DAICHI HOKI

第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8560
http://www.daiichihoki.co.jp

ご注文はWEBからも承ります。

☎ Tel. 0120-203-694

☎ Fax. 0120-302-640

子どもの思考を深める教育方法の開拓へ
——より多くの子どもがより深く学ぶために、日本の教師たちが工夫・模索を繰り返して生まれた到達度評価。その歴史と理論、実践を描く。A5判・256頁・並製 本体2,500円

到達度評価入門

小林千枝子・平岡さつき・中内敏夫 著 [2016年3月新刊]

教育行政学

[改訂版]

——教育ガバナンスの未来図
教育行政の枠組みを広げた新しいタイプのテキスト。A5判・248頁・並製 本体2,300円

小松茂久 編 [2016年3月新刊]

新制度や最新の法律・教育時事に対応して改訂。教育法規・行政を簡潔かつ網羅的に整理した入門書で、教員採用試験の受験勉強に最適。A5判・364頁・並製 本体2,200円

教育法規スタートアップ

ver.3.0

高見茂・開沼太郎・宮村裕子 編 [「好評につき第3版・第3刷」]

昭和堂

〒606-8224 京都市左京区北白川大農学部前
TEL 075-706-8818 FAX 075-706-8878
http://www.showado-kyoto.jp *価格税抜

学会大会・シンポジウム・研修会の
開催が決まりましたら
コームラへご相談ください！

- 印刷物制作・参加者への発送
- Web制作(大会ホームページ、参加登録／演題登録システム)
- 大判印刷(看板、案内板、大型パネル等制作)
- 備品手配／レンタル など

学会・協会等の実績多数！
安心してご依頼ください！



K 株式会社 コームラ
岐阜県岐阜市三輪ふりんとびあ3

☎ 058-229-5858
詳しくはホームページをご覧ください
http://k-gakkai.com

MEMO

日本教育経営学会第 56 回大会プログラム

発行日：2016 年 5 月 9 日

編集：日本教育経営学会第 56 回大会実行委員会

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町 1 番地

京都教育大学大学院連合教職実践研究科竺沙研究室気付

委員長：榊原禎宏（京都教育大学）

委員：浅田昇平（四天王寺大学） 田中真秀（川崎医療福祉大学）

竺沙知章（京都教育大学） 藤村祐子（滋賀大学）

水本徳明（同志社女子大学）

印刷：株式会社コームラ 〒501-2517 岐阜市三輪ぷりんとびあ 3

電話 058-229-5858 FAX058-229-6001

日本児童教育振興財団50周年記念出版

- 6月27日発売
- 定価：1,600円＋税
- A5判／272ページ

5つの特色

- 1 戦後の学校教育70年を一望する画期的な試み。
- 2 70年間のそれぞれの年に、教育の世界でなにが起こったかを簡潔にまとめた年表。
- 3 それぞれの年の教育の重要なできごとを取り上げて客観的に解説。
- 4 「重要テーマの軌跡」では、学校制度、学習指導要領、教科書制度など、戦後の学校教育の重要なテーマをわかりやすく解説。
- 5 学校教育の気鋭の研究者による戦後教育の的確な分析とこれからの提言。

日本児童教育振興財団編
編集委員／浜田博文（筑波大学教授・
日本教育経営学会会長）

加藤崇英（茨城大学准教授）

いよいよ
刊行！

学校教育の 戦後70年史

1945年（昭和20）—2015年（平成27）

学校教育が子どもを育ててきた、
そして日本をつくってきた――

戦後の学校教育の全体像を「年史」と「重要テーマの軌跡」の2つの軸でとらえました

■戦後教育70年史 1945年（昭和20）—2015年（平成27）

各年の教育の出来事がひと目でわかる年表と解説の2段構成。

■重要テーマの軌跡

- | | | | |
|-----------|--------------|----------------|---------------|
| ① 教育基本法 | ⑨ 学力観と教育評価 | ⑩ 学校の施設設備と適正配置 | ⑬ キャリア教育 |
| ② 学校制度 | ⑩ 教職員団体 | ⑭ 学校の安全と危機管理 | ⑭ 道徳教育 |
| ③ 中央教育審議会 | ⑪ 教員の免許と養成 | ⑮ 学校保健と健康教育 | ⑮ 子どもの生活環境と学校 |
| ④ 教育委員会 | ⑫ 教員の研修と評価 | ⑯ 開かれた学校 | |
| ⑤ 学習指導要領 | ⑬ 教員の仕事と生活 | ⑰ 学校の国際化 | |
| ⑥ 教科書制度 | ⑭ 特別支援教育 | ⑱ 子どもの学校生活 | |
| ⑦ 学校経営 | ⑮ 学級編制と教職員定数 | ⑲ 情報化と授業改革 | |
| ⑧ カリキュラム | | | |

執筆 者 （五十音順）	安藤 知子（上越教育大学）	河合 康（上越教育大学）	照屋 翔大（茨城大学）	本図 愛実（宮城教育大学）
	岩田 康之（東京学芸大学）	木原 俊行（大阪教育大学）	留目 宏美（上越教育大学）	元兼 正浩（九州大学）
	白井 智美（大阪教育大学）	佐藤 博志（筑波大学）	浜田 博文（筑波大学）	山下 晃一（神戸大学）
	大谷 奨（筑波大学）	末松 裕基（東京学芸大学）	平井貴美代（山梨大学）	
	大野 裕己（兵庫教育大学）	鈴木 瞬（くらしき作陽大学）	福島 正行（盛岡大学）	
	加藤 崇英（茨城大学）	田中マリア（筑波大学）	藤原 文雄（国立教育政策研究所）	

小学館

アメリカ学校財政制度の公正化

笠沙知章著
A5・上製・三二八頁・三三〇〇円

大学財政——世界の経験と中国の選択

呂煒編著 成瀬龍夫監訳
A5・上製・二八八頁・三四〇〇円

大学の財政と経営

丸山文裕著
A5・上製・二四八頁・三三〇〇円

大学進学と入学者選抜制度

高等教育機会の地域格差

——地方における高校生の進学行動
朴澤泰男著
A5・上製・三九二頁・五六〇〇円

東アジアの大学・大学院入学者選抜制度の比較

中国・台湾・韓国・日本
南部広孝著
A5・上製・二〇八頁・三三〇〇円

中国大学入試研究——変貌する国家の人材選抜

大塚 豊著
A5・上製・二五八頁・二六〇〇円

教育機会均等と奨学金制度

中国における大学奨学金制度と評価

王 帥著
A5・上製・三二〇頁・五四〇〇円

教育機会均等への挑戦——授業料と奨学金の8カ国比較

小林雅之編著
A5・上製・四九六頁・六八〇〇円

アメリカ連邦政府による大学生経済支援政策

犬塚典子著
A5・上製・二七二頁・三八〇〇円

大学管理運営職員の育成

大学事務職員のための高等教育システム論新版

山本眞一著
四六・並製・一七六頁・一八〇〇円

アメリカ大学管理運営職の養成

高野篤子著
A5・上製・二四四頁・三三〇〇円

大学の管理運営改革——日本の行方と諸外国の動向

江原武一・杉本均編著
A5・上製・三〇四頁・三六〇〇円

大学戦略経営論

——中長期計画の実質化によるマネジメント戦略
篠田道夫著
A5・上製・三六〇頁・三四〇〇円

大学自らの総合力Ⅱ——大学再生への構想力

寺崎昌男著
四六・上製・二六四頁・二四〇〇円

大学自らの総合力——理念とFDそしてSD

寺崎昌男著
四六・上製・一八四頁・二〇〇〇円

30年後を展望する中規模大学

——マネジメント・学習支援・連携
市川太一著
四六・上製・二四〇頁・二四〇〇円

大学の発想転換——体験的イノベーション論25年

坂本和一著
四六・並製・二六六頁・二〇〇〇円

国立大学法人の形成

大崎仁著
四六・上製・二五六頁・二六〇〇円

国立大学・法人化の行方——自由と格差のはざま

天野郁夫著
A5・上製・三六八頁・三六〇〇円

私立大学の経営と教育

丸山文裕著
A5・上製・二五六頁・三六〇〇円

私立大学の経営と拡大・再編

——一九八〇年代後半以降の動態
両角亜希子著
A5・上製・四四〇頁・四二〇〇円

私立大学マネジメント

私立大学連盟編
A5・上製・七二頁・四七〇〇円

教育マーケティング理論の新展開

佐野亨子著
A5・上製・三三〇頁・三三〇〇円

大学のカリキュラムマネジメント

——理論と実務
中留武昭著
A5・上製・二八八頁・三三〇〇円

アメリカ公立学校の社会史

——コンスクールからNCLB法まで
W.J.リリス著 浅沼茂・小川佳万監訳
A5・上製・五二八頁・四六〇〇円

アメリカ間違いがまかり通っている時代

——公立学校の企業型改革への批判と解決法
D・ラヴィッツ著 末藤美津子訳
A5・上製・五三六頁・三八〇〇円

アクティブラーニング・シリーズ(各A5判)

監修 溝上慎一 全7巻 同時発売

なぜアクティブラーニングが注目されるのか。

高齢化、人口減、明日への意欲を喪失した若者たち。この趨勢を打ち破るほとんどの唯一の手段だ。教育は解決へ向け自ら活動・参画・実践する主体的学習へ！日本全体を巻き込むこの転換への期待が、いまアクティブラーニングを普遍化させているのだ。

①アクティブラーニングの技法・授業デザイン

安永悟・関田一彦・水野正朗編 一五二頁・二六〇〇円

②アクティブラーニングとしてのPBLと探究的な学習

溝上慎一・成田秀夫編 一七六頁・一八〇〇円

③アクティブラーニングの評価

松下佳代・石井英真編 一六〇頁・一六〇〇円

④高等学校におけるアクティブラーニング：理論編

溝上慎一編 一四四頁・二六〇〇円

⑤高等学校におけるアクティブラーニング：事例編

溝上慎一編 一九二頁・二〇〇〇円

⑥アクティブラーニングをどう始めるか

成田秀夫著 一六八頁・二六〇〇円

⑦失敗事例から学ぶ大学でのアクティブラーニング

亀倉正彦著 一六〇頁・二六〇〇円

全7巻セット 特価一〇〇〇〇円受付中 ※直接東信堂へ